
国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業
及び包括管理運営業務
落札者決定基準

令和7年3月3日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務 落札者決定基準
目 次

第1章 優秀提案者選定の手順.....	1
1 落札者決定基準の位置づけ.....	1
2 選定の手順.....	1
第2章 参加資格確認.....	4
第3章 提案審査.....	4
1 提案書の事前審査.....	4
2 非価格要素の定量化審査.....	4
3 開札及び入札価格の確認.....	6
4 入札価格の定量化審査.....	6
5 総合評価点の算定方法.....	6
第4章 非価格要素の定量化審査における審査項目.....	7

第1章 優秀提案者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務（以下、「本業務」という。）を実施する事業者は、エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の設計・施工及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となる。このため、優秀提案者の選定にあたっては、入札価格のほか、設計・施工、運営・維持管理等の提案内容、猪名川上流広域ごみ処理施設組合（以下、「本組合」という。）の要求水準との適合性並びに事業計画の妥当性・確実性等の各面から総合的に評価する総合評価一般競争入札を採用する。

また、「国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務 落札者決定基準」（以下、「本落札者決定基準」という。）は、本組合が本業務を実施する事業者の募集・選定を行うにあたって、入札に参加しようとする者を対象に交付する「国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務 入札説明書」（以下、「入札説明書」という。）と一体のものである。

本落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により優秀提案者を選定するにあたって、「国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務 要求水準書」（以下、「要求水準書」という。）等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書を客観的に審査する基準及び方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本業務における優秀提案者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、図1に示す手順で実施する。

なお、入札参加者の募集、評価及び落札者の決定において、最終的に入札参加者がいない場合には、落札者を決定せず、その旨を本組合のホームページ等で速やかに公表する。

また、入札参加者が1者であった場合も入札参加資格審査及び提案内容審査を実施する。

(1) 参加資格確認

本組合は、入札参加希望者が提出した入札参加資格確認申請書類により、入札説明書に記載の入札参加者が備えるべき参加資格要件（以下、「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、期限までに参加資格確認申請書類を提出しない者及び参加資格がないと認められた者は、入札に参加することができない。

(2) 提案審査

ア 提案書の事前審査

本組合は、提案書（技術提案書、施設計画図書、添付資料）に記載された内容が、本落札者決定基準に示す事前審査項目を満たしていることを確認する。事前審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 非価格要素の定量化審査

国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務に係るPFI事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は提案書に記載された内容について、本落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って審査する。

ウ 入札価格の確認

本組合は、入札書に記載された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が入札書比較価格を超える場合は失格とする。
なお、本業務の入札においては、最低制限価格及び低入札調査基準価格は設定していない。

エ 入札価格の定量化審査

選定委員会は入札価格について、本落札者決定基準に示す得点化方法に従って審査する。

オ 総合評価点の算定

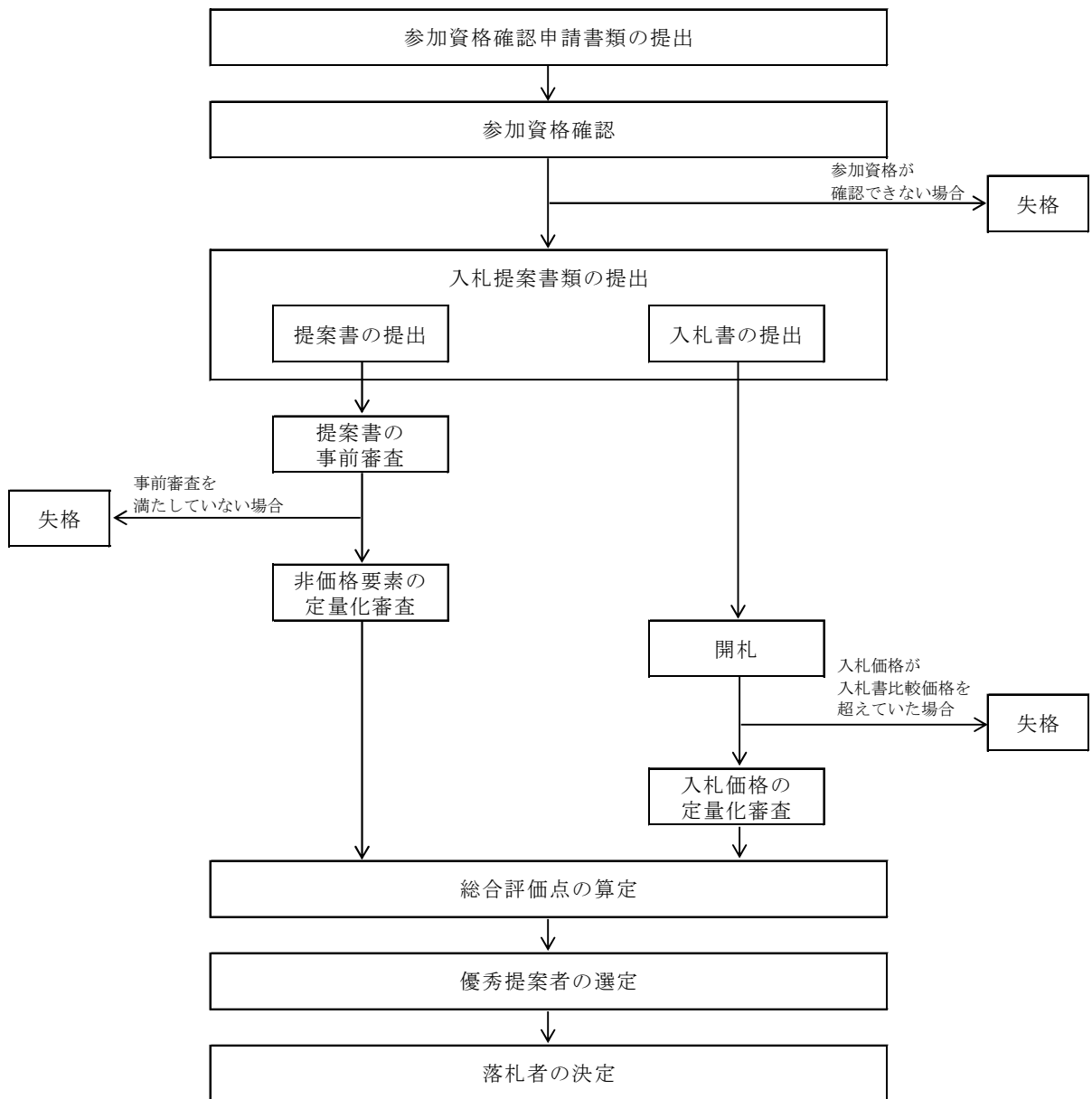
選定委員会は、提案書の非価格要素の定量化審査における得点及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価点を算定する。

カ 優秀提案者の選定

選定委員会は、総合評価点が最も高い提案者を優秀提案者として選定する。ただし、総合評価点と同じ提案者が2以上ある場合は、入札価格が低い提案者を優秀提案者として選定する。入札価格が同額の場合は、当該提案者によるくじ引きにより優秀提案者を選定する。

キ 落札者の決定

本組合は、選定委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。



※1 提案書の事前審査において失格となった者の提出した入札書は、開札しない。

図1 落札者決定の手順

第2章 参加資格確認

参加資格確認申請書により、入札参加者が参加資格要件を満たしていることを確認する。参加資格確認基準日は参加資格確認申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 事業者募集及び選定に関する事項」を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の事前審査

(1) 提案書の確認

提出された提案書がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の事前審査

提案書に記載された内容が、次の事前審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び「国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業及び包括管理運営業務 様式集」に示す提案書の作成に関する条件について遵守していること。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 非価格要素の定量化審査

提案書に記載された内容について、次の審査方法に従い定量化する。

(1) 審査項目と配点

非価格要素の定量化審査における審査項目と配点は、施設整備及び運営を行うことの必要性・重要性を勘案し、本組合が本業務に対して民間事業者の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。

したがって、審査項目は、本組合が本業務を実施する事業者に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 非価格要素の定量化審査における審査項目」を参照のこと。

表1 審査項目と配点

審査項目		配点
大項目	小項目	
非価格要素に関する事項		60点
(1) 安全かつ効率的な施工及び維持管理	安全かつ効率的な施工計画、工事中の安全対策	6点
	搬入不適合物混入防止対策、啓発への取り組み	6点
(2) 適切な維持管理による施設の基本性能の発揮、地域環境、地球環境などに対する負荷の低減	施設機能の回復、CO2 排出量の削減	7点
	工事中及び包括管理運営業務期間中の環境保全対策	7点
(3) 経済性を考慮した、ライフサイクルコストの低減と効率的な施設管理	施設の長寿命化、安定稼働を見据えた維持管理計画	7点
	効率的な施設管理のためのセルフモニタリングの取り組み	3点
(4) 災害時における迅速な対応	継続的な防災機能の保持に対する取り組み	4点
	災害発生時に災害廃棄物を迅速かつ円滑に処理できる施設	4点
(5) 事業全体計画	事業実施体制、教育計画	4点
	リスク管理及び事業の継続性の担保	4点
	工程管理計画、工期遵守のための対策	4点
	地元企業の活用、資機材の調達への協力、運転員雇用等	4点

(2) 審査基準及び得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、表2に示す5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

イ 各審査項目の得点については、各委員が個別に行った得点の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の非価格要素の得点の合計を算定する。

表2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	配点×0.00

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認する。入札価格の確認のための開札は、非価格要素の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施する。

なお、入札価格が入札書比較価格を超えていない提案の場合は、入札価格の得点化を行うこととし、入札価格が入札書比較価格を超える場合は、入札参加者を失格とする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格の得点化方法

入札価格については、次の算定式により得点を付与する。得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

入札価格の得点算定式

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格の得点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$$

5 総合評価点の算定方法

「2 非価格要素の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算定した得点を合計して、当該入札参加者の総合評価点を算定する。

総合評価点の算定式

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{非価格要素の得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格の得点} \end{array} \right)$$

第4章 非価格要素の定量化審査における審査項目

選定委員会では、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、得点を付与する。

なお、各項目については、審査の視点に対して、入札参加者の過去の経験等を踏まえ、より実現性の高い提案が望ましい。

表3 定量化審査の審査項目、審査の視点及び配点

大項目	小項目		審査の視点	配点	
安全かつ効率的な施工及び維持管理	No. 1	安全かつ効率的な施工計画、工事中の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ効率的な施工計画の提案及び実現への方策 ※施設を稼働しながらの工事となるため、ごみの搬入及び処理に支障がないよう配慮した工事計画を提案すること。 工事期間中におけるごみの搬入及び処理に支障がないよう配慮した維持管理計画の提案及び実現への方策 施設稼働に伴う人や車両の動線に配慮した工事中の安全対策 	6	12
	No. 2	搬入不適物混入防止対策、啓発への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 搬入不適物混入防止計画及び搬入後の対応（リチウムイオン電池等による火災対策（延焼防止策）を含む） 搬入不適物の混入を抑制するための啓発活動への取り組み 	6	
適切な維持管理による施設の基本性能の発揮、地域環境、地球環境などに対する負荷の低減	No. 3	施設機能の回復、CO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理能力の回復、ごみ質・ごみ量の変動に対する安定稼働に向けた対策 さらなる発電量及び充電の量確保への取り組み（省エネへの対策、取り組みを含む） 本施設のCO2排出量の最小化への取り組み 	7	14
	No. 4	工事中及び包括管理運営業務期間中の環境保全対策	<ul style="list-style-type: none"> 工事中及び包括管理運営業務期間中における周辺環境や、周辺住民への排ガス、騒音、振動、悪臭等の公害防止への配慮 敷地内の環境保全、悪臭対策の取り組み 	7	
経済性を考慮した、ライフサイクルコストの低減と効率的な施設管理	No. 5	施設の長寿命化、安定稼働を見据えた維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> 工事対象機器の耐用年数及び実績に基づく長期使用を踏まえた工夫、工事対象外機器等の経年劣化による性能低下への対策 実績を踏まえた、基本性能の維持及び長寿命化を考慮した日常の点検、補修、維持管理計画 緊急時（故障、火災等）の対応方針、具体的な対策 維持補修費、用役費削減のための具体的かつ適正な計画 	7	10
	No. 6	効率的な施設管理のためのセルフモニタリングの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 計画性かつ実効性のあるセルフモニタリング（工事期間、包括管理運営期間中）の実施内容、頻度、報告内容等 ※セルフモニタリングの内容には地元貢献等も含むこと。 	3	
災害時における迅速な対応	No. 7	継続的な防災機能の保持に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 用水、用役等の備蓄、調達先の確保に対する取り組み ※災害により陸路等が寸断された状態でも用水、用役等を確保するための方策について提案すること。 運営事業者内での連携を図るための取り組み ※災害時における連絡体制及びシフトの組み方等について提案すること。 	4	8
	No. 8	災害発生時に災害廃棄物を迅速かつ円滑に処理できる施設	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時における事業継続、早期復旧に対する取り組み及び考え方 災害発生時の災害廃棄物の受入れ及び処理に対する取り組み、災害発生時の施設運営に関する考え方及び工夫 災害時の運転計画 	4	
事業全体計画	No. 9	事業実施体制、教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体を安定的に行うための実施体制、組織計画、及び人員配置の考え方 施設管理運営事業を安定的に行うための職員の育成計画、新人の研修制度 	4	16
	No. 10	リスク管理及び事業の継続性の担保	<ul style="list-style-type: none"> 運営期間において、計画性かつ妥当性のある事業収支計画（資金調達、資金運用を含む） 本件事業における特徴的なリスクの洗い出し、リスク管理方針、リスク管理体制（安全衛生管理、健康管理、防災管理を含む） ※リスクの顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化に考慮すること。 安定的な事業実施のために付保することを想定した保険内容 	4	
	No. 11	工程管理計画、工期遵守のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 基幹的設備改良工事（設計・施工）の工程表とその管理方法、工期遵守への配慮事項及び工程の妥当性 ※ごみの外部処理が発生しないための工夫について提案すること。 立地条件を踏まえた工期遵守に配慮した仮設計画（仮設事務所、資材置場、駐車場等） 	4	
	No. 12	地元企業の活用、資機材の調達への協力、運転員雇用等	<ul style="list-style-type: none"> 本組合構成市町に事業所（本社・本店）を有する企業の活用、資機材の調達等の地元貢献金額、地元雇用金額、これらを実現する仕組み等 	4	